

# 令和2年度全国高等学校総合体育大会 第70回全国高等学校スキー大会実施要項

- 主催 (公財) 全国高等学校体育連盟 (公財) 全日本スキー連盟  
長野県 長野県教育委員会 飯山市 飯山市教育委員会
- 共催 読売新聞社
- 後援 スポーツ庁 (公財) 日本スポーツ協会 日本放送協会  
(公財) 長野県スポーツ協会 (特非) 飯山市スポーツ協会
- 主管 (公財) 全国高等学校体育連盟スキー専門部 長野県高等学校体育連盟  
(公財) 長野県スキー連盟 飯山市スキークラブ
- 協力 陸上自衛隊 (松本駐屯地第13普通科連隊)

- 1 期 日** 令和3年2月 6日(土)～10日(水)  
(1) 開会式 令和3年2月6日(土)  
(2) 競 技 令和3年2月7日(日)～10日(水)  
(3) 閉会式 令和3年2月10日(水)

- 2 会 場** (1) 開会式 映像配信  
(2) 競 技 アルペン 戸狩温泉スキー場 ジェットコース  
クロスカントリー 長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース  
スペシャルジャンプ 市営飯山シャンツェ  
ノルディック  
コンバインド 市営飯山シャンツェ  
長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース  
(3) 閉会式 飯山市トピアホール

### 3 種 目

男 子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャイアントスラローム</li> <li>・ スラローム</li> <li>・ クロスカントリー10km (クラシカル)</li> <li>・ クロスカントリー10km (フリー)</li> <li>・ スペシャルジャンプ</li> <li>・ ノルディックコンバインド</li> <li>・ リレー (10km×4人 1・2走クラシカル 3・4走フリー)</li> </ul>
女 子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャイアントスラローム</li> <li>・ スラローム</li> <li>・ クロスカントリー5km (クラシカル)</li> <li>・ クロスカントリー5km (フリー)</li> <li>・ スペシャルジャンプ 公開競技</li> <li>・ ノルディックコンバインド 公開競技</li> <li>・ リレー (5km×3人 1走クラシカル 2・3走フリー)</li> </ul>

## 4 日 程

月 日	時 刻	競 技 内 容	会 場
2月5日(金)	17:00	ジャンプ種目 TCM	トピアホール
2月6日(土)	8:30	スペシャルジャンプ公式練習 ノルディックコンバインドジャンプ公式練習 ノルディックコンバインドジャンプ予備ラウンド(PCR)	市営飯山シャンツェ
	16:00	クロスカントリー種目 TCM	トピアホール
	17:00	女子ジャイアントスラローム TCM	トピアホール
2月7日(日)	8:30	スペシャルジャンプ(男子競技に引き続き女子公開競技)	市営飯山シャンツェ
	9:00	女子ジャイアントスラローム	戸狩温泉スキー場ジェットコース
	9:30	女子クロスカントリー 5km(フリー)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	13:00	男子クロスカントリー 10km(フリー)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	17:00	男子ジャイアントスラローム TCM	トピアホール
2月8日(月)	8:30	ノルディックコンバインドジャンプ (男子競技に引き続き女子公開競技)	市営飯山シャンツェ
	9:00	男子ジャイアントスラローム	戸狩温泉スキー場ジェットコース
	9:30	女子クロスカントリー 5km(クラシカル)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	13:30	女子ノルディックコンバインド クロスカントリー5km(フリー)(公開競技)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	14:00	男子ノルディックコンバインド クロスカントリー10km(フリー)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	17:00	女子スラローム TCM	トピアホール
2月9日(火)	9:00	女子スラローム	戸狩温泉スキー場ジェットコース
	9:30	男子クロスカントリー 10km(クラシカル)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	17:00	男子スラローム TCM	トピアホール
2月10日(水)	9:00	男子スラローム	戸狩温泉スキー場ジェットコース
	9:30	女子リレー(5km×3人)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	11:30	男子リレー(10km×4人)	長峰スポーツ公園長峰クロスカントリースキーコース
	15:30	閉会式	トピアホール

## 5 競技規則

(公財)全日本スキー連盟競技規則最新版に準拠した(公財)全国高等学校体育連盟スキー専門部規程によるほか、本大会要項による。

## 6 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入すること。

但し、各都道府県における規定があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

## 7 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、スキー専門部に登録し、（公財）全日本スキー連盟に会員登録と競技者登録（S A J データバンク登録者一覧に記載された者）を完了し、当該競技実施要項により全国大会の参加資格を得た者に限る。但し、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。
- (3) 年齢は、2001年（平成13年）4月2日以降に生まれたものとする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (6) 転校後・転籍後6カ月未満の者は同一競技への参加を認めない（外国人留学生もこれに準ず）。但し、一家転住など、やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。大会開始前のエントリー変更期限前に6カ月が経過し、出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリーの変更のルールがある場合には、そのルールに従って変更を認める。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
  - ① 上記（1）、（2）に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、都道府県高等学校体育連盟会長が推薦した生徒について、大会参加資格の別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。
  - ② 上記（3）の但し書きについて、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

### 【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加資格を認める条件
    - ① 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重する。
    - ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
    - ③ 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
    - ④ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っておらず、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ① 大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会参加申合事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ③ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

## 8 出場制限

- (1) 1校からの出場選手について、アルペン種目及びクロスカントリー種目は、1種目男女とも3名以内とし、補欠は両種目とも1名とする。但し、クロスカントリー種目においてエントリー数が都道府県出場枠に満たない場合、その都道府県出場枠内順位で当該校4番目の選手（追加枠）の出場を認める。ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディック コンバインド）は、制限を加えず、補欠は存在しない。但し、いずれの場合も都道府県予選通過者に限る。リレーは1チームとする。（男子は6名連記、女子は5名連記）また、出場選手は1人2種目以内とする。但し、リレーはこの限りではない。
- (2) 令和2年度都道府県種目別出場人員枠を別表1のとおりに制限する。
- (3) 予選会の開催が不可能な都道府県は、当該高等学校体育連盟スキー専門部長及び各都道府県高等学校体育連盟会長の推薦によって出場することができる。
- (4) （公財）全日本スキー連盟推薦による海外派遣等のため、各都道府県予選会に出場できなかった者は、所定の手続きの上、その都道府県の枠外で本大会に出場できる。（海外特枠選手）但し、この場合は、補欠選手との交代はできない。
- (5) 開催都道府県は、各種目3名、リレー1チームの増を認める。
- (6) 補欠選手は、各都道府県の予選会において、その都道府県の出場枠内順位であって各校出場枠（追加枠含む）外にあった場合、その種目該当校に1名の補欠選手を認める。補欠選手を設けた場合は、補欠選手の数だけ予選会の順位を繰り上げてエントリーすることができる（各都道府県の出場枠に、補欠選手は含まない）。
- (7) 出場選手のランキングは、各都道府県予選会の順位とする。但し、補欠選手及び1校出場枠を超える選手があった場合は、繰り上げランキングとする。追加枠のランキングについては、予選会順位順で追加ランキングとする。
- (8) 補欠選手と正選手の交代は、当該種目実施前日の16時までには大会実施本部において受け付け、組織委員会の判断において決定する。交代が認められた選手は、アルペン種目においてはチームキャプテンミーティングで連絡する。クロスカントリー種目の当該校には電話又はFAXで連絡する。併せて、大会実行委員会ウェブサイト及び公式掲示板で告知する。
- (9) 外国人留学生の参加については、男女とも1校1名までとする。
- (10) 女子ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディック コンバインド）（公開競技）においては、在学する学校の校長及び所属する都道府県高等学校体育連盟会長の承認を得るものとする。

## 9 抽 選

- (1) ノルディック種目は、あらかじめ仮出発番号を定めるものとし、各都道府県の出場制限数によって各グループの仮出発番号の抽選を行う。
- (2) ① 海外派遣等の選手を海外特枠選手として出場させている学校で、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。  
② ジャンプ種目（スペシャルジャンプ、ノルディック コンバインド）において、1校4名以上の出場となった場合、学校対抗得点対象選手3名を指定して申し込み、申し込み後の変更は認めない。
- (3) 抽選は、令和3年1月23日（土）午前10時から大会実施本部において行う。抽選責任者は、（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部とし、参加チーム代表者は希望によって立ち会うことができる。なお、抽選については、（公財）全国高等学校体育連盟スキー専門部細則による。
- (4) 抽選方法は次のとおりとする。
  - ① アルペン種目は6グループに、ノルディック種目（リレーは除く）は4グループに区分する。
  - ② ノルディック種目のグループ分けは、出場枠に応じてランキング1から順に第4グループから割り振る。以下、第3・第2・第1グループまで均等に分ける。

- ③ アルペン種目においては、第1グループ内のSAJポイント上位15名を特別グループとする。
  - ④ 各グループ別人数については、別表2により区分する。
  - ⑤ (公財)全日本スキー連盟推薦による海外特別枠選手の区分は、アルペン種目は第1グループ、ノルディック種目については第4グループの後に位置し、それが複数の場合は抽選でスタート番号を決める。
- (5) 出発順は次のとおりとする。
- ① クロスカントリー種目(リレーは除く)は、第3、第4、第2、第1グループ順を原則とする。
  - ② ジャンプ種目は、第1、第2、第3、第4グループ順を原則とする。
  - ③ ノルディック コンバインド クロスカントリー10kmはグンダーセン方式とする。
  - ④ アルペン種目は男女とも各グループ内でポイント順とし、第1グループ内の特別グループ選手(15名)及び各グループ内のノーポイントの選手においては、抽選により出発順を定める。
- (6) 補欠選手との入れ替え
- 正選手と補欠選手の入れ替えは、スタート番号を変えずに正選手のスタート番号にて補欠選手をスタートさせる。

## 10 採点方法

- (1) 入賞得点は次のとおりとする(女子公開競技は点数計算に入らない)。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
得点	11	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- (2) 個人入賞で同順位の場合は、次位を空席とし該当する得点を合計し、同順位者数で割った点数を得点とする。
- (3) 総合優勝は総合最高得点校であり、同点の場合は各種目の上位入賞者数(3位まで)により決定する。なお、それでも決定しない場合は、リレー競技の順位により決定する。
- (4) 総合の2位以下の順位決定は得点順とするが、同点の場合は同順位とし、次位を空席とする。
- (5) 要項9抽選(2)に示す選手の出場で、1校4名以上の出場となった場合の得点対象はあらかじめ指定した3名のみとし、対象外者の得点は次位者に与える。
- (6) 前項8出場制限(1)に示す追加枠の選手については、得点対象としない。

## 11 表彰

- (1) 総合の部

- ① 優勝校には、男女とも(公財)全国高等学校体育連盟会長杯及び文部科学大臣杯を授与する。(持ち回りとする)
- ② 賞状は、男女とも1位から6位まで授与する。
- ③ 優勝校には、男女ともNHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- ④ 表彰は閉会式において行う。

- (2) 種目別の部

- ① 男女とも1位から10位まで賞状を授与する。(クロスカントリー種目追加枠を含む)
- ② 男女とも各種目3位まで(公財)全日本スキー連盟制定のメダルを授与する。
- ③ 表彰は各競技終了後、トピアホールで行う。
- ④ 競技最終日の表彰は、トピアホールにおいて、閉会式前に行う。
- ⑤ 女子スペシャルジャンプ種目及び、女子ノルディックコンバインド種目(公開競技)は、(公財)全国高体連スキー専門部で6位まで表彰する。

## 12 参加申込

### (1) 申込書類

- |   |                  |
|---|------------------|
| ① 大会参加申込通知書   | ( 様式 1 )         |
| ② 都道府県選手団役員編成表  | ( 様式 2 )         |
| ※選手団役員の編成は、団長・副団長・総監督・総務・種目別監督各 1 名とする。                     |                  |
| ③ 種目別参加申込書  | ( 様式 3 A ・ 3 N ) |
| ④ 都道府県別リレー参加申込書   | ( 様式 3 R )       |
| ⑤ 学校別出場認知書【男女別とする】  | ( 様式 4 )         |
| ※各学校の監督・マネージャーはそれぞれ 3 名以内とする。<br>また、競技者登録番号の記入のないものは受け付けない。 |                  |
| ⑥ 都道府県選手団 宿泊申込書   | ( 様式 5 )         |
| ⑦ 学校別 宿泊申込書   | ( 様式 6 )         |
| ⑧ 都道府県役員 宿泊申込書  | ( 様式 7 )         |
| ⑨ 視察申請及び宿泊申込書【視察員を派遣する都道府県のみ】                               | ( 様式 8 )         |
| ⑩ 都道府県予選会の公式記録 (リザルト)                                       | 1 部              |
| (リザルト形式でない場合、順位、タイムが明記されており、専門委員長の印があること)                   |                  |
| ⑪ 参加承諾願 (海外特別枠)   | (写し)             |

### (2) 申込方法

- ① 各参加校の業務 (第70回大会の様式を使用すること)  
下記の書類を作成し、各都道府県申込責任者へ提出する。  
(様式 4) 学校別出場認知書  
※選手氏名の漢字、学年、生年月日、SAJ 競技者番号などを確認する。  
(様式 6) 学校別宿泊申込書
- ② 各都道府県申込責任者 (各都道府県専門委員長) の業務
  - ア 上記 (1) の申込書類を作成及び取りまとめる。  
(様式 3 A) (様式 3 N) 種目別参加申込書  
(様式 3 R) 都道府県別リレー参加申込書  
※選手氏名の漢字、学年、SAJ 競技者番号などを確認する。  
また、(別表 1) 都道府県出場枠、(別表 2) 抽選グループ別人数を照らし合わせ、枠数、グループについても確認する。
  - イ 申込期限までに、全ての書類を下記大会実施本部に電子メールを送信及び郵送する。  
※(様式 1)、(様式 4)、(様式 9) の公印及び公式記録のサインの有無を確認する。
  - ウ 申込書類 (様式 1)、(様式 4)、公式記録及び参加承諾願 (海外特別枠) の送付は、「簡易書留速達」とし、封筒には「大会申込書在中」と朱書きし郵送する。
  - エ 参加料・プログラム代金 (合計金額) の送金は、「銀行振込」とする。振込金受領書のコピーを申込書類とともに事務局に郵送する。  
※振込人には、「都道府県名 氏名」のように、必ず都道府県名を明記する。
  - オ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。
  - カ 申し込み後の選手 (補欠を含む) の変更は認めない。

(3) 申込先

〒389-2411

長野県飯山市豊田6569

トピアホール内

令和2年度全国高等学校総合体育大会

第70回全国高等学校スキー大会飯山市実行委員会事務局

TEL 0269-67-0121

FAX 0269-65-2551

E-mail [interhigh@city.iiyama.nagano.jp](mailto:interhigh@city.iiyama.nagano.jp)

大会 HP <http://70in-high.jpn.org>

(4) 申込期限

参加申込書類一式： 令和3年1月21日（木）12時 必着

(5) 参加料（選手のみ、女子公開競技選手も含む）

個人：1種目4,500円

リレー：男子1チーム8,000円、女子1チーム6,000円

【※参加申し込みと同時に納入する】

(6) プログラム

プログラムは、参加校に男女各1部を無料配付する。その他は実費で販売する。

代金は1部1,000円とし、申込みと同時に参加料と合わせて納入する。

【振込先】

金融機関名 八十二銀行 飯山支店

店番号 255

普通口座 679045

口座名義 第70回全国高等学校スキー大会飯山市実行委員会

13 宿泊

宿泊申込については、指定された方法・締め切り期限厳守で申し込むこと。

詳細については、宿泊要項を参照のこと。

14 傷害処置

出場選手が競技中に傷害を負った場合は、主催者が応急処置を行い、必要に応じて救急車を要請する。以後は各学校で処置するものとする。

15 注意事項

(1) 参加選手は、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険加入しておくなど、万全の事故対策を講じること。

(2) 出場選手は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者はすべての行動に対して責任を負う。

(3) 都道府県選手団代表者は、大会実施本部で受付を済ませること。

受付開始：令和3年2月2日（火）～ 【9:00～16:30】

## 16 飯山市実行委員会事務局及び大会実施本部

### (1) 飯山市実行委員会事務局

〒389-2292  
長野県飯山市大字飯山 1110 番地 1  
飯山市教育委員会  
令和 2 年度全国高等学校総合体育大会  
第 70 回全国高等学校スキー大会飯山市実行委員会事務局  
TEL 0269 - 62 - 3111  
FAX 0269 - 62 - 5990  
E-mail interhigh@city.iiyama.nagano.jp

### (2) 大会実施本部（事務局）

〒389-2411  
長野県飯山市豊田 6 5 6 9  
トピアホール内  
令和 2 年度全国高等学校総合体育大会  
第 70 回全国高等学校スキー大会実施本部  
TEL 0269-67-0121  
FAX 0269-65-2551  
E-mail interhigh@city.iiyama.nagano.jp  
大会 HP [http:// 70in-high.jpn.org](http://70in-high.jpn.org)

## 17 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

- (1) 大会プログラムや掲示板等に掲載され、競技場内でアナウンスされることがある。また、大会関係ウェブサイトに掲載されることがある。
- (2) 本大会実行委員会に認められた報道関係機関が撮影した映像・写真・記録等は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載されることがある。
- (3) 大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとして、これ以外の目的に使用することはない。参加申込書の提出により、上記取扱いに関する承諾をいただいたものとして対応する。また、大会役員、競技役員、大会関係者及び会場に来られる観客の皆様についてもこれに準ずる。